

令和4年度 公益財団法人山梨県スポーツ協会事業計画書

事業計画

基本方針

本協会は、県民のスポーツニーズを的確にとらえ、県民一人ひとりがスポーツに親しめるよう、スポーツの振興を図っていく公益財団法人としての使命がある。2020(令和2)年1月に国内最初の感染者が確認された新型コロナウイルスの感染拡大を契機として、密閉・密集・密接の「三つの密」の回避が求められる等、世界的にも様々な変化が生じている。スポーツイベントにおいても中止や人数制限が行われ、県民生活にも多大な影響が生じている中、「山梨県スポーツ協会スポーツ推進計画」に基づき、加盟団体との連携を一層強化しながら「スポーツ協会の運営」、「スポーツの推進」、「利用環境・効率の向上」を重点に次の事業を行う。

なお、事業の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症のまん延防止に向け作成したガイドラインに基づき、感染防止対策に万全を期す。

事業実施計画

I スポーツ協会の運営

1 理事会、評議員会等の運営

(1) 理事会	第1回(通常)	令和4年6月 2日(木)
	第1回(臨時)	令和4年6月17日(金)
	第2回(通常)	令和4年8月 5日(金)
	第3回(通常)	令和5年3月22日(水)
(2) 評議員会	定 時	令和4年6月17日(金)
(3) 総務委員会	第1回	令和4年5月27日(金)
	第2回	令和4年7月28日(木)
	第3回	令和5年3月17日(金)

(4) 加盟団体関係会議

市町村体育・スポーツ協会事務局長・事務担当者会議	令和4年4月13日(水)
加盟競技団体・学校体育団体理事長会議	令和4年4月13日(水)

2 事務局の運営

(1) スポーツ庁が、スポーツ団体における適切な組織運営を行う上での原則・規範として策定した「ガバナンスコード」について、本協会においても適用し、コンプライアンスの強化とガバナンスの確保に取り組む。とりわけ、その原則2に示す役員への女性や若年者の登用が進むよう、加盟団体とともに組織を上げて取り組むこととする。

(2) 本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努める。

ア 賛助会員の加入募集

イ 寄附金(免税寄附金)の募集及び制度の活用促進

(3) 総合的人材育成システムの運用

「人材育成基本方針」に基づき、職員の資質向上のため、研修会の開催や各種講習会及び資格取得研修への参加等、総合的な人材育成を行うとともに、職員倫理やコンプライアンスの徹底、向上を図る。

(4) 働き方改革への取り組み

年休5日付与の義務化、就業管理システムによる適正な労働時間の把握、業務の効率化による時間外勤務の削減については引き続き実施し、令和3年4月から適用となった正規職員と非正規職員との休暇制度等の格差を無くすための同一労働同一賃金の働き方改革に取り組み、職員のワーク・ライフ・バランスの推進を図る。

(5) 新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえたスポーツ施設管理

職員の感染防止、健康管理に十分配慮するとともに、指定管理受託施設及び境川自転車競技場の管理について、感染拡大により職員が罹患者又は濃厚接触者となり業務に従事できない者が生じた場合であっても業務を継続できるよう柔軟かつ機動的な職員配置を行う。

(公益目的事業)

II スポーツの推進

新型コロナウイルスの感染拡大の影響による、スポーツへの参画機会の減少等を受け、県民誰もがスポーツに親しみ、活力ある地域社会を実現していくために次のとおり事業を進める。

1 専門委員会の開催

スポーツの推進を図る上で必要な事項について検討するため、専門委員会を開催する。

(1) スポーツ振興委員会	第1回	令和4年 6月28日(火)
	第2回	令和4年11月 9日(水)
	第3回	令和5年 3月 6日(月)
(2) 広報委員会	第1回	令和4年 5月20日(金)
	第2回	令和4年11月18日(金)
	第3回	令和5年 3月10日(金)
(3) スポーツ医・科学委員会	第1回	令和4年 7月14日(木)
	第2回	令和4年11月10日(木)
	第3回	令和5年 3月 9日(木)
(4) 境川自転車競技場運営委員会	第1回	令和4年 5月 9日(月)
	第2回	令和5年 3月 6日(月)
(5) スポーツ少年団常任委員会	第1回	令和4年 5月16日(月)
	第2回	令和4年 6月23日(木)
	第3回	令和4年10月20日(木)
	第4回	令和5年 2月27日(月)

2 子どものスポーツ機会の充実

新型コロナウイルスの感染拡大により、大会やイベントが中止される等子どものスポーツへの参画機会が著しく減少している中であって、スポーツ少年団活動の意義は益々重要となることから、これまで以上に積極的に事業を展開していく。

(1) スポーツ少年団の育成

ア スポーツ少年団組織の活性化

スポーツ少年団組織の活性化を図るため、理念と意義の浸透、指導者養成と資質の向上、

幼児加入に対する取り組みについて、内容、方法を検討する。

(ア) 指導者協議会評議員会の開催

令和4年5月11日(水) 小瀬スポーツ公園武道館第2会議室

(イ) アクティブ・チャイルド・プログラムの普及と団活動への浸透

子どもたちが楽しみながらからだを動かすことのできる「アクティブ・チャイルド・プログラム」の普及・浸透を図るため、研修会を開催する。

令和4年7月16日(土) 小瀬スポーツ公園体育館サブアリーナ

イ 団員交流事業の促進

特定の種目に偏らず、様々なスポーツを体験させ運動感覚を養うとともに、野外活動や文化活動等をとおして創造性や協調性を育む。

(ア) 県内交流事業

a 第44回山梨県スポーツ少年大会の開催

令和4年7月23日(土)から24日(日) 八ヶ岳少年自然の家

b 第15回山梨県スポーツ少年団フェスティバルの開催

令和4年4月9日(土) 小瀬スポーツ公園 武道館

c 第41回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会予選会の開催

(軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道)

令和4年5月から6月末日 県内各会場

d 全国スポーツ少年団競技別交流大会予選会の開催

(バレーボール・剣道)

令和4年11月から12月末日 県内各会場

(イ) 県外交流事業

a 第53回関東ブロックスポーツ少年大会への派遣

令和4年8月5日(金)から7日(日) 東京都

b 第60回全国スポーツ少年大会への派遣

令和4年8月4日(木)から7日(日) 鹿児島県

c 第41回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会への派遣

(軟式野球・バレーボール・ミニバスケットボール・バドミントン・空手道)

令和4年7月17日(日)・18日(月・祝)・30日(土)・31日(日)

9月18日(日)・19日(月・祝) 神奈川県

d 全国スポーツ少年団競技別交流大会への派遣

第44回 野球 令和4年8月4日(木)から7日(日) 奈良県

第45回 剣道 令和5年3月25日(土)から27日(月) 新潟県

第20回 バレーボール 令和5年3月24日(金)から27日(月) 静岡県

ウ 市町村スポーツ少年団の組織強化

スポーツ少年団組織の指導体制の強化と組織の資質向上を目指し、その機能を充実させるため、団員交流や単位団の活性化を図る。

(ア) スポーツ少年団市町村事務担当者会議の開催

スポーツ少年団の理念と意義や単位団の活動のあり方等への理解を深めてもらうとともに、各市町村の課題や情報を共有することによる連携強化を図るため、担当者会議を開

催する。

令和5年2月15日(水) 小瀬スポーツ公園体育館 研修室

(イ) 県内スポーツ少年団交流事業への助成

県内市町村スポーツ少年団において団員の交流を図る事業を助成する。

(ウ) 県外スポーツ少年団交流事業への助成

近隣の県外団員との交流を促進し、団活動の活発化を図る事業を助成する。

(エ) 母集団育成事業への助成

単位団を支える“母体となる集団”の育成を図る事業を助成する。

(オ) 体力テスト事業への助成

自己の体力を把握し、健康管理や体力づくりを促進する事業を助成する。

(カ) 全国規模競技大会参加団員への助成

家庭の経済状況によらず、すべてのスポーツ少年団員が全国大会を目指すことができる環境を整えるため参加にかかる交通費及び宿泊費を助成する。

(キ) 指導者育成事業の委託

指導者の資質向上並びに指導者組織の整備拡充を図るための事業を委託する。

(2) スポーツ機会の提供

子ども達が身体活動の持つ楽しさや成功体験を経験することにより、将来的なスポーツへの可能性を広げられる事業として「子どもスポーツキャラバン」を実施する。

3 生涯スポーツ活動の推進

新型コロナウイルスの感染拡大により、大会やイベントが中止される等県民のスポーツへの参画機会が減少している中、競技団体、市町村体育・スポーツ協会や山梨県スポーツ推進委員協議会、総合型地域スポーツクラブ等のスポーツ関係団体と連携し、県民一人ひとりが気軽にスポーツに親しむ機会を拡充していく。

(1) スポーツ大会の開催

ア 山梨県体育祭り

県民一人ひとりがスポーツに親しみ、豊かなスポーツライフの創造と地域のスポーツ振興を図り、明るく豊かで活力あるふるさとづくりを目的に開催する。

(ア) 令和4年度実行委員会総会の開催(第75回夏秋季大会・第76回冬季大会)

令和4年4月22日(金)

(イ) 第75回夏季大会

カヌー競技	令和4年5月	下旬	精進湖カヌー競技場
ボート競技	令和4年6月	中旬	河口湖漕艇場
セーリング競技	令和4年6月	中旬	山中湖村ヨットハーバー沖
少林寺拳法競技	令和4年7月	中旬	小瀬スポーツ公園武道館
水泳競技	令和4年8月	下旬	小瀬スポーツ公園水泳場

(ウ) 第75回秋季大会

組合せ抽選会 令和4年7月29日(金)

中心会期(44競技) 令和4年9月17日(土)・18日(日)・25日(日)

小瀬スポーツ公園他

総合開会式 令和4年9月17日(土) 小瀬スポーツ公園武道館 アリーナ
 総合閉会式 令和4年9月25日(日) 緑が丘スポーツ公園体育館 大体育館

(エ) 第76回冬季大会

スケート競技(フィギュア) 令和4年12月 中旬 小瀬アイスアリーナ
 スケート競技(スピード) 令和5年 2月 中旬 会場未定
 スキー競技 令和5年 3月 中旬 サンメドウズ清里スキー場
 アイスホッケー競技 令和5年 3月 下旬 小瀬アイスアリーナ

イ 山梨県スポーツ・レクリエーション祭

「第1回全国スポーツ・レクリエーション祭」の開催を記念して、県民が気軽に参加でき、スポーツ・レクリエーションを楽しみながら、交流を深める場となることを目的に開催する。

(ア) 令和4年度実行委員会総会の開催

令和4年4月6日(水)

(イ) 第34回山梨県スポーツ・レクリエーション祭

令和4年5月14日(土)、5月15日(日)、21日(土)、22日(日)、29日(日)
 マスターズ陸上競技等17種目 小瀬スポーツ公園他

ウ 第59回山梨県一周駅伝競走大会

スポーツ県やまなし宣言記念事業の一環として、県内各地区の代表チームによる県一周駅伝競走大会を開催し、スポーツの普及啓蒙を図る。

令和4年12月3日(土)から4日(日)

(2) 参加機会の充実

ア スクールの開催

(ア) スポーツ健康づくり教室

県民全体のスポーツ実施率が向上するよう子どもから高齢者まで男女を問わず、生涯を通じて誰でもスポーツに親しむことができる世代別、目的別に運動をする機会を提供する。さらに運動からスポーツ、スポーツから競技へと発展できるようスポーツ、競技をする機会を提供する。また、サークル活動等による自主的な活動への発展をも促し、スポーツライフを支援する。

種目	教室
テニス	・テニス教室 ・フレンドリーテニスレッスン ・フレンドリーテニスゲーム
バドミントン	・初心者バドミントン ・フレンドリーバドミントンゲーム
太極拳	・太極拳教室
弓道	・初心者弓道教室
フィットネス	・ミットエクササイズ ・「お気軽」筋力トレーニング教室 LaLaLa サーキット ・ノルディックウォーキング教室 ・大人がスポーツを楽しむためのフィジカルトレーニング教室 ・いきいきパワーアップ ・マスターズ教室 ・シニアのためのウォーキング&筋トレ教室

	・託児付きママのためのフィットネスサロン
陸上	・大人のための陸上(短距離)教室 ・子どもかけっこ教室
サッカー	・大人のための初心者サッカー教室
ダンス	・エアロビクス ・ソフトエアロビクス ・リズム&ボディケア ・あそびのおけいこ(親子リズム体操) ・チアダンス
ヨーガ	・ヨーガ ・インナーパワーヨーガ ・ベーシックヨーガ ・ピラティス ・骨盤調整
グラウンドゴルフ	・エンジョイグラウンドゴルフ
スケート	・カーリング教室 ・大人のためのフィギュア教室 ・ファミリースケート day ・アイスホッケー教室
カヌー	・カヌー体験教室
総合運動	・幼児運動教室 ・小学生運動教室 ・スポーツやろうよ! ・スポーツ塾

(イ) トレーニング室利用者証の発行・実技指導

a 利用者証の発行

トレーニング室初回利用者を対象に、安全に施設を利用してもらうためトレーニング室の利用説明を行い利用者証を発行する。

受付 随時

発行料 無料(施設利用料別途)

b 体質改善プログラムの提供

新型コロナウイルスの流行で外出を控え家で過ごす時間が増えたことにより、運動不足やストレスが要因で体重が増加した人の割合が50%以上となった調査結果もできている。いわゆる「コロナ太り」と言われる人が増えてきており、肥満だと新型コロナウイルス感染症が重症化することも分かっている。本協会では、これまでのメタボリックシンドロームをはじめとした体質改善に加え、コロナ太り解消のため、体組成測定器を用い、筋・脂肪割合、体組成成分、メタボリック情報等10項目について評価を行い、それに基づいて適切な運動プログラムを提供する。

体組成測定 随時

測定料 測定のみ(結果説明、運動アドバイスを含む)200円/人

c 実技指導

利用者の目的に応じたトレーニングメニューを提供するとともに、機器の効果的な使用方法を指導し、トレーニング効果を高める。

なお、健全な発育発達を考慮し、中学3年生からの利用とする。

実技指導 随時

指導料 無料(施設使用料別途)

(ウ) 富士北麓公園フリーウエイトトレーニング室利用講習会

フリーウエイトトレーニング室利用者が、利用基準にしたがって施設を安全により効果的に利用してもらうため、講習会を開催し修了証を発行する。

開催期日 利用状況により開催(月に3~4回程度)

(エ) スポーツ体験コーナー

新たにスポーツをするきっかけを創出するため、山梨県レクリエーション協会、ミズノグループ及びヴァンフォーレ甲府と連携し、定期的に無料で軽スポーツやニュースポーツ等を体験できる「スポーツ体験コーナー」を開催する。

イ スポーツフェスティバルの開催

各年齢層に応じたスポーツを楽しむ機会やふれあいの場を提供し、スポーツの楽しさと爽快感を体験するとともに、スポーツへの興味や関心を高め、スポーツを実践する動機づけにする。

(ア) ファミリースポーツフェスティバル

親子・祖父母と楽しめるスポーツをとおして、ふれあいの場とするとともに、家庭生活の中でスポーツに親しむ動機づけとする。

(イ) こどもスポーツフェスティバル

こどもが気軽に参加し、共に考え協力して行えるスポーツ大会をとおして、スポーツの楽しさを知り、生涯にわたってスポーツに親しむ契機とする。

(ウ) ヤング・ミドルスポーツフェスティバル

若者から中年層に人気のあるスポーツの大会を開催し、スポーツに慣れ親しみ、生涯にわたってスポーツを楽しむ契機とする。

(エ) シルバースポーツフェスティバル

高齢者に大変人気の高いグラウンドゴルフの大会を開催することにより、高齢者が生涯にわたりスポーツに慣れ親しみ、健康的な生活を送れるための契機とする。

(オ) スクールフェスティバル

教室参加者や、地域・サークル等で活動している、初・中級者を対象とした大会を開催し、活動を継続するための目標とするとともに、他大会等へのステップとしてもらう。

(カ) 利用促進スポーツイベントの開催

施設の更なる利用促進を図るため、民間事業者とタイアップし、様々なスポーツの体験や著名なアスリートとの交流を図るスポーツイベントを開催する。

ウ セミナーの開催

(ア) スポーツ医・科学セミナー

国体強化選手、指導者及びスポーツ愛好者等を対象に、スポーツ医・科学委員会と連携し、健康の保持増進や体力づくり、競技力の向上等を目的としたスポーツ医学やスポーツ科学のセミナーを開催する。

(イ) 健康・体力づくりセミナー

スポーツを愛好している一般の人たちを対象に、身近なスポーツの技術・技能の紹介や健康・体力づくりの基礎的な知識を提供するセミナーを開催する。

(3) プロスポーツ・イベントの誘致・開催

ア プロスポーツ・イベントの積極的な誘致とトップアスリートを招聘したスポーツイベントの開催

「みるスポーツ」の推進として、管理運営施設である小瀬スポーツ公園を中心に、トップスポーツを誘致・開催し、また、トップアスリートや著名人を招聘し、数々のスポーツレッスンや講演会を開催し、多くの県民にスポーツへの興味を持っていただける機会を提供する。

イ ミズノビクトリークリニックの開催

指定管理においてミズノと協力体制にあることから、ミズノ所属および契約のトップアスリー

トやプロ指導者と直接ふれあえる「ミズノビクトリークリニック」を開催し、スポーツを「する」人をはじめ、「みる」「ささえる」人にも魅力的なスポーツイベントとして県民の夢と希望を広げ、地域活性化の機会を創出する。

(4) 地域スポーツの活動への支援

ア 高齢者向け体力測定

活力ある超高齢化社会を目指し、高齢者関係機関・団体に出向き、身体運動の基本となる歩行能力評価と運動指導をセットにした運動プログラムを提供する。

イ 指導者派遣

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動を支援するため、要望に応じ指導者を派遣し、健康・体力づくりの指導を行う。

指導者派遣 年間20回

ウ 軽スポーツ用具の貸出

地域・職場・サークル等が行うスポーツ活動に対して、軽スポーツ用具の貸し出しを行う。

(5) 障がい者スポーツの推進

専門的知識やノウハウ等の情報を有する山梨県障害者スポーツ協会のほか、各専門関係団体と連携し、障がい者と健常者が共に参加できるイベントとして、3×3 Festival とカーリング大会を開催する。

4 競技スポーツの推進

(1) 競技力の向上

本県選手が国民体育大会や各種大会等において優秀な成績を収めることができるよう競技力の向上を図るとともに、県民のスポーツへの関心を高め、本県スポーツの発展を期する。

ア 競技力向上対策本部の運営

(ア) 本部会議(年4回)

令和4年6月30日(木)、9月1日(木)、10月27日(木)、令和5年3月2日(木)

(イ) 理事長、事務局長、主任強化コーチ会議(年3回)

国体出場競技団体の理事長、事務局長、主任強化コーチ等に対し、競技力向上に関する説明会や研修会を実施する。

令和4年5月17日(火)、11月15日(火)、令和5年3月7日(火)

(ウ) 競技団体個別会議

対策本部委員と競技団体競技力担当者が面談を行い、今後の課題、方針等の意見交換を行う。

令和5年2月6日(月)・8日(水)・10日(金)・13日(月)

イ 競技団体等への支援

(ア) 競技団体選手強化事業

国民体育大会に向けての候補選手(指導者を含む)を対象とした強化事業に対し助成する。また、強化事業においては、スポーツトレーナーの帯同に要する経費の一部を助成する。

(イ) 成年チーム指定強化事業

a 重点チーム強化

国民体育大会において優秀な成績を収めるため、重点強化チーム9チームを指定し、強化事業に対し助成する。

b 指定チーム強化

成年選手の競技力の維持向上を目指して、大学・企業・クラブチーム13チームを指定し、強化事業に対し助成する。

(ウ) 海外派遣奨励金の交付

日本代表として世界選手権等の大会に海外派遣される個人・団体に交付する。

(エ) 競技団体等主催大会等助成事業

関東大会・全国大会及び国際大会等の開催や本県選手の出場、活躍は本県スポーツの振興に大きく寄与するため、本県開催の関東級以上の大会に助成する。

(オ) 練習場確保事業

県立射撃場の整備凍結に伴う競技団体の練習場確保事業に対し助成する。

ウ 2巡目国体を見据えた競技力強化

昭和61年のかいじ国体以来2巡目となる本県開催での国体を令和14年に見据え、選手の発掘・育成を計画的に強化・育成する。

(ア) ターゲットエイジ発掘事業

各競技団体が競技の普及や選手発掘を目的に小学生から中学生を対象とした個別発掘事業を実施する経費の一部を助成する。

(イ) ターゲットエイジ育成事業

国体正式競技である41競技において発掘したターゲットエイジを対象に技術向上のための練習会を実施する。また、国体に近年導入された新種目及び女子選手の強化が必要な競技を定め重点強化する事業を実施する経費の一部を助成する。

(ウ) 指導者養成事業

国民体育大会の監督資格となる指導者資格保有者を確保するため、資格取得に係る経費の一部を助成する。

エ 国民体育大会選手等の選定及び派遣

予選会を実施し、選手の選考を経て、本県選手団を派遣する。

(ア) 第77回国民体育大会関東ブロック大会

令和4年6月11日(土)から8月28日(日) 東京都

(イ) 第77回国民体育大会

会期前実施競技 (水泳・体操・ビーチバレー・弓道)

令和4年 9月10日(土)から19日(月) 栃木県

本大会 令和4年10月 1日(土)から10月11日(火) 栃木県

<開会式> 令和4年10月 1日(土)

<閉会式> 令和4年10月11日(火)

(ウ) 第78回国民体育大会

冬季大会関東ブロック大会 (アイスホッケー)

令和4年12月2日(金)から4日(日) ※予定 東京都

冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会

令和5年1月28日(土)から2月5日(日) 青森県
冬季大会スキー競技会

令和5年2月17日(金)から20日(月) 岩手県

(エ) 日本スポーツマスターズ2022への派遣

令和4年9月3日(土)から4日(日)(水泳) 岩手県

令和4年9月7日(水)から9日(金)(ゴルフ)

令和4年9月23日(金)から26日(月)(中心会期)

オ 医・科学サポート

(ア) 医学的サポート

国体に参加する選手(含:関東ブロック大会)から提出された健康調査票を基に、メディカルチェックを実施し、選手の健康管理を行う。

(イ) 科学的サポート

栄養関係、心理関係、コンディショニング関係の3分野について、国体参加競技団体を対象に測定、調査、分析し、指導・助言を行う。

(ウ) 国民体育大会へのスポーツドクター、アスレティックトレーナーの帯同

国体参加時にスポーツドクター並びにアスレティックトレーナーを帯同させ、選手の緊急医療時の対応やドーピング関係薬物の対応を行う。

カ 国民体育大会の開催

(ア) 令和14年の第86回国民体育大会(令和6年から国民スポーツ大会に改称)の本県招致に向けて、山梨県と緊密に連携して開催要望書の提出に向けて準備を進める。

5 スポーツ環境の整備

(1) 人材の養成

ア 子どものための人材養成

(ア) スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

地域における単位団活動の中心的指導者を養成する講習会、スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会を開催する。

第1回 令和4年 8月21日(日) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室

第2回 令和4年10月30日(日) 小瀬スポーツ公園武道館アリーナ

第3回 令和5年 2月19日(日) 小瀬スポーツ公園体育館サブアリーナ

(イ) スポーツ少年団指導者研修会

指導者等の資質向上と指導者相互の連帯を図るため、研修会を開催する。

令和4年12月 上旬 会場未定

(ウ) 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

関東ブロック各都県のスポーツ少年団指導者の相互の連携と資質・指導力の向上を図るための研究協議会を開催する。

令和4年11月 5日(土) から 6日(日) 栃木県

(エ) スポーツ少年団リーダーの養成

リーダー会の育成や指導者協議会との連携により、将来の指導者を養成するとともに、少年団の円滑な活動の推進を図る。

a ジュニア・リーダースクールの開催

単位団において、団員の模範となって活動するジュニアリーダーを養成する。

令和4年11月12日(土) 小瀬スポーツ公園武道館

令和4年11月19日(土)から20日(日) 緑が丘スポーツ公園スポーツ会館

b シニア・リーダー研修会

中学生以上で、シニア・リーダー資格取得に意欲のある団員を集め、資質向上のための研修を開催する。

令和5年 2月 11日(土) 小瀬スポーツ公園体育館

c 関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会

関東ブロック各都県のスポーツ少年団リーダーの相互の連携と資質の向上を図るための研究大会へ派遣する。

令和4年10月15日(土)から16日(日) 千葉県

d リーダーの派遣

日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール

令和4年 8月9日(火)から12日(金) 静岡県

全国スポーツ少年団リーダー連絡会

令和4年 6月11日(土)から12日(日) オンライン開催

e 山梨県スポーツ少年団リーダー会への助成

組織の強化充実並びに運営経費を助成する。

イ 生涯スポーツのための人材養成

(ア) スポーツリーダー養成講習会

地域におけるスポーツグループやサークル等のリーダーとして、基礎的なスポーツ指導や運営にあたることのできる指導者を養成する講習会を開催する。

令和4年 5月14日(土)から15日(日) 小瀬スポーツ公園武道館

(イ) 公認コーチ1養成講習会

地域において、子ども達や初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々の指導対象にあわせた指導が可能となる指導者を養成する講習会を開催する。

実施競技: バレーボール、自転車競技、ソフトボール

(ウ) 公認コーチ2養成講習会

各地域において、年齢、競技別レベルに応じた指導ができ、指導計画等においても中心的な役割を担うことができる指導者を育成する講習会を開催する。

(エ) スポーツドクターの確保

医・科学委員会との連携と医師の協力のもと、スポーツドクターの確保を図る。

(オ) アスレティックトレーナーの確保

医・科学委員会及び競技団体と連携を図り、アスレティックトレーナーの確保を図る。

(カ) スポーツ指導者研修会の開催

公認スポーツ指導者の資質の向上と活動促進、指導者の連帯感を深める。

第1回 令和4年 6月11日(土) 富士川町はくばく文化ホール

(第2回 令和4年 9月・第3回令和5年 1月 開催予定 会場未定)

(キ) 山梨県スポーツ指導者協議会への助成

組織の強化充実並びに運営経費に助成する。

(2) スポーツ拠点の充実

ア 地域スポーツの充実

(ア) スポーツ振興ブロック会議

スポーツの振興に関し、各地域の市町村のスポーツ関係者と地域の課題等について意見交換を行い推進強化を図る。

中北地区	令和4年 7月 5日(火)	北巨摩合同庁舎
峡南地区	令和4年 7月 6日(水)	身延総合文化会館
富士・東部地区	令和4年 7月 8日(金)	ピュア富士
峡東地区	令和4年 7月13日(水)	甲州市民文化会館

(イ) 山梨県スポーツ推進委員協議会との連携

各地域の県民がスポーツの生活習慣化できるような魅力ある事業を展開し、スポーツ拠点を拡充できるよう、山梨県スポーツ推進委員協議会との連携を図る。

(ウ) 大学・企業との連携

県内大学・民間団体との連携を強化し、共催事業等を展開することにより、民間の持つノウハウ又はネットワーク等を活用した事業展開を行う。

a 山梨学院大学との連携

山梨学院大学と本協会は、これまで育んできた協力関係をもとに連携し、次のスポーツ分野における事業に取り組み、スポーツで山梨の未来を創造する展開を押し進めていく。

・トップアスリートの育成(山梨県の競技力向上)

山梨県と本協会が実施している競技力強化事業に山梨学院大学の選手強化の知見を活用し、2巡目を迎える山梨県での国体で好成績を上げることを目指した選手育成を推進する。

・一人ひとりの県民を元気に健康に 生涯スポーツの推進

生涯スポーツを推進する「市町村体育・スポーツ協会」、「総合型地域スポーツクラブ」、「スポーツ少年団」等に対し、本協会と山梨学院大学が協働し、人材育成や事業展開等への支援を行う。

・スポーツを通じて活躍する人材育成 スポーツ人材の育成

山梨学院大学の持つスポーツに関する専門的な知見を活用した本協会、市町村体育・スポーツ協会等のスポーツ関係団体に係る人材の育成、山梨学院大学が輩出するスポーツ人材の山梨県内スポーツ界での登用等を通じたスポーツ人材の活用を推進する。

・スポーツを楽しむ場の提供 相互のスポーツ施設の有効活用

山梨県内トップクラスのスポーツ施設を管理する本協会と、国際規格のスポーツ施設を設置・運営する山梨学院大学が、施設維持管理や運用に関する情報交換等を通じて双方の施設運営に役立てる。

・スポーツによる山梨県の活性化 国際化と地域貢献

世界共通の文化であるスポーツによる国際交流の推進やスポーツ産業の活性化を通して本県の活性化を目指す。

b アミューズとの連携

本協会は、あらゆるライフステージにおいてスポーツを楽しむ、体力・年齢・性別に関係なくスポーツの喜びを味わうことができるよう、小瀬スポーツ公園及び富士北麓公園を中心に年間30を超えるスポーツ教室を開催し、10を超えるスポーツフェスティバルを開催している。

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、運動機会の減少、スポーツ実施率の低下等のスポーツを巡る環境の変化を踏まえ、運動機会の増加に向けた取り組みが一層切実な課題となっている。更に、スポーツによる地域の健康づくり、スポーツイベントの開催による地域経済への貢献等、地域社会の課題の解決にスポーツが果たすべき役割は一段と注目されているところである。

株式会社アミューズは本県に本社を移転し、音楽系のアーティストのみならず、多くのアスリートが在籍し、スポーツ・アウトドアイベントを企画している企業である。同社はアスリートやスポーツに対する様々な可能性を常に追求し、スポーツに関係するイベントの企画・立案・実施を行っており、スポーツ施設の利活用のノウハウを潤沢に蓄積し魅力的な事業を数多く展開している。

同社はスポーツ施設の多様な活用、スポーツを通じた地域連携・貢献、スポーツ推進のきっかけづくり等、本協会が目指しているスポーツの在り方に関して非常に高いポテンシャルを有しており、過年度においてもイベント協力や打ち合わせ等を重ね両者の関係構築を進めてきたところである。

本協会が長年培ってきたスポーツ振興事業(教室・フェスティバル等)の再検討が求められている中、更に魅力のある事業の企画・立案を行うために、同社の助言やノウハウを活用することは極めて有益であると考えられる。

このため、スポーツ振興事業、スポーツ施設の維持管理・運営等に関し同社の高い識見と運営経験を基に助言をいただけるよう協力関係を構築していく。

(エ) 山梨ことぶき勸学院との連携

高齢者の健康体力づくりのため、新たなシニアのライフスタイルを創造することを目的とし、「生きがいの創出」「新たな縁・絆の構築」「地域に貢献できる人材の育成」「健康の増進」に取り組んでいる「山梨ことぶき勸学院」と連携し、5つの地域教室の生徒を対象に有資格者による運動指導を行う。

(オ) スポーツツーリズムの活用

県ではスポーツコミッションを推進するための組織として「やまなしスポーツエンジン(仮称)」を設立し、本県ならではの地域資源を活用したスポーツツーリズムを推進し、スポーツを通じた地域の観光振興を図ることとしている。本協会としても新たにスポーツコミッション担当を立ち上げ、管理受託しているスポーツ施設、加盟団体との連携協力体制等を活かし、地域スポーツの充実を図る。

イ 総合型地域スポーツクラブの育成・登録・認証

(ア) 広域スポーツセンターの運営

山梨県が設置した広域スポーツセンターを運営し、総合型地域スポーツクラブの創設や運営及びスポーツ活動について効率的に支援する。

総合型クラブ情報交換会 第1回 令和4年 6月24日(金)

第2回 令和4年 9月20日(火)

第3回 令和5年 2月24(金)

(イ) 総合型地域スポーツクラブの育成

山梨県と連携し、クラブアドバイザーとともに県内各市町村を訪問し、総合型地域スポーツクラブの状況把握を行うとともに、運営の助言および指導を行う。

(ウ) 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用

令和4年度から開始する総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用を行う。

総合型スポーツクラブ登録審査会 令和4年8月23日(火)

総合型スポーツクラブ登録部会 令和4年9月22日(木)

(エ) 公認アシスタントマネジャー養成講習会の開催

クラブ運営のための諸活動をサポートするアシスタントマネジャーの資格取得ができる公認アシスタントマネジャー養成講習会を開催する。

令和4年8月6日(土) 夢ワーク山梨

令和4年8月7日(日) 夢ワーク山梨

令和4年8月11日(木・祝) 小瀬スポーツ公園武道館

(オ) やまなし総合型クラブ交流イベントの開催

クラブ相互の交流と認知度アップを図るとともに、広く県民に参加を呼びかけ、スポーツ実施率の向上を促す契機とするイベントを開催する。

令和4年11月23日(水・祝) 小瀬スポーツ公園武道館

(カ) 総合型地域スポーツクラブ山梨への助成

総合型クラブ交流事業の実施及び組織の強化充実の運営経費を助成する。

7 指定管理施設の効用を最大限に引き出す施設管理とスポーツ推進

ウ 管理施設の環境の充実

本協会が管理している施設を県民に親しんでもらえるようサービスの向上に取り組む。また、「見るスポーツ」の機会充実とスポーツへの関心・興味を向上させ参加を促すためのプロスポーツ大会誘致のほか、教育や文化、福祉、産業振興等の幅広い分野でのイベント誘致を行う。

さらに、利用者の安心・安全で快適な利用のために、日々の施設の環境整備、備品の点検、AEDの設置場所の周知や職員の救命救急法の研修等を実施する。

(ア) 管理受託施設

a 小瀬スポーツ公園

本県において最も充実した複合スポーツ施設である小瀬スポーツ公園を最大限活用するため、引き続き「年中無休」「利用時間の拡大」を行うとともに、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の喜びや楽しさを県民が享受できるような施設運営に取り組む。

また、憩いの場として多くの方々が県内外から来園することから年間を通して自然を感じられるよう季節に応じた植栽管理を行うとともに、「桜まつり」に代表される季節に応じたイベントを企画・開催する。

さらに、スポーツの拠点である本公園で「スポーツ少年団フェスティバル」「やまなし総合型クラブ交流イベント」をはじめとした事業を行うとともに「スポーツ健康づくり教

室」「スポーツフェスティバル」「ミズノビクトリークリニック」を開催することで生涯を通じて老若男女を問わずスポーツに親しむことができる機会を提供する。

なお、武道館については、自動火災報知設備改修工事等により令和4年12月5日から令和5年3月15日まで休館する予定となっている。

b 富士北麓公園

北麓地域の中心的なスポーツ施設として、多くの県民はもとより、吉田の火祭りに合わせて開催される「火祭りロードレース」、富士山五合目を自転車を目指す「Mt.富士ヒルクライム」、富士五湖を周回する「チャレンジウルトラマラソン」等、全国から数千人の方々が参加するイベントの拠点になっている。また、首都圏からのアクセスが良いことから、県内外を問わず多くの団体の合宿利用がある。このような大型イベントや合宿利用等に対し事前に入念な打ち合わせを行い、施設利用に支障のないよう努めている。

さらに、海外選手団や陸上競技の日本代表選手団の事前合宿地としてのステータスを活用した富士北麓公園の利用促進として、今後も企業・大学・高校などの強化合宿の受け入れを促進するとともに、合宿を契機として競技団体等が行う大会やイベント等の取り組みを支援していく。

また、連携協力関係にあるミズノグループの専属及び契約のトップアスリートやプロの指導者と直接ふれあえるクリニックを開催し、スポーツを「する」人をはじめ、「みる」「ささえる」人にも魅力的なスポーツイベントとして県民の夢と希望を広げ地域活性化の機会を創出する。

c 緑が丘スポーツ公園

甲府市北部にある本施設は、甲府市が管理している陸上競技場や野球場等の施設とともに、甲府市民を中心に地域コミュニティーの場としての役割を担ってきた。施設の老朽化が課題となっているが、県有体育施設として全国大会から個人の利用まで幅広く利用いただき、前年度は全日本社会人卓球選手権大会や全日本学生ハンドボール選手権大会を開催したほか、スポーツ会館屋内プールにおいては地域の64歳以上の利用者が毎月約600人を超える等健康増進施設としての機能も大いに果たしている。

コロナ禍であるが大会主催者との綿密な打ち合わせや県グリーン・ゾーン認証施設として万全な対策を講じる上で、来園者と職員のコミュニケーションを重視しながら利用者の声を施設管理に反映させることで安全・安心・安らぎが提供できるよう努めていく。

d 八代射撃場

管理運營業務については、競技力向上に配慮し射撃場の適正な施設水準の維持しながら利用促進に努める。また、コスト意識をもって経費の削減を図りながら、利用者の視点に立った運営を行うことでサービスの向上に努める。

(イ) 直営施設

a 境川自転車競技場

首都圏からのアクセスも良く、見晴らしの良い立地にある国内を代表する好条件を有したサイクルスポーツ振興施設である。競技スポーツに限らず多様化するサイク

ルスポーツのニーズに対し、柔軟な姿勢を持ちながら施設管理を行っていく。施設名にもあるとおり「競技者×競技場」という従来の概念に捉われず、「BMX×競技場」、「サイクルイベント×競技場」といった施設の新しいスタイルを提案しながら、利用促進を図りサイクルツーリズムを念頭に置いた柔軟な管理運営を行う。

また、山梨県が初めてオリンピック自転車競技ロードレースの開催地となり、世界最高水準の競技が行われたこと、県においては新たなサイクルスポーツイベントが企画されること等から、境川自転車競技場を活用したサイクルスポーツのあり方について積極的に提案、実施し、サイクルスポーツ文化の定着を支援していく。

(3) スポーツの啓発

ア スポーツ情報発信

(ア) インターネットの活用

- ・インターネットを活用し、管理施設の情報、スポーツ教室やイベントの紹介を行う。
- ・やまなしスポーツ情報ネット内にシステム化されている「スポーツ指導者バンク」の運営を行い、スポーツ指導者の登録、紹介を行う。
- ・やまなしスポーツ情報ネットのスポーツ新着情報や大会情報等の更新を行う。
- ・SNSの活用としてInstagramを用い、国民体育大会の情報発信をはじめ、本協会の各種事業の告知や施設管理情報を県民へ発信する。また、拡散力の強いTwitterも活用し、施設利用者の更なる獲得及び利用促進を図る。

(イ) 広報誌の活用

- ・情報交換と提供の場としてスポーツ協会広報誌「スポーツやまなし」とスポーツ少年団広報誌「わかば」を発行する。
- ・各管理施設における情報や健康増進情報等を掲載した広報誌「Lively 小瀬」、「Lively 北麓」を毎月発刊する。

(ウ) スポーツ絵画・写真コンクールの開催

スポーツの絵画・写真を通して、スポーツへの関心を高めるとともに、県民のスポーツに対する意識の向上を図る。

イ 各種表彰

(ア) スポーツ協会表彰

体育・スポーツに尽力された体育功労者に対し、その活動への感謝と功績を讃えるため表彰を行う。

また、全国大会や世界大会に出場し優秀な成績を残した県内選手・指導者に対し、その功績と今後の活躍を期待して表彰を行う。

(イ) スポーツ少年団表彰

永年に亘り、団活動を活発に行い他の模範となるような単位団並びに団活動に尽力しその功績が顕著な指導者に対して表彰を行う。

(4) スポーツサポーター活動の推進

一般県民の方が本協会事業に「本協会の一員として同じ目標・理念を共有し活動に参加していただくことによりスポーツを支える」スポーツサポーターとしてボランティア参加していただける方策を打ち立て、これを長期にわたり安定した運営が行えるよう体制づくりを構築する。

6 国際スポーツ交流の推進

(1) スポーツ少年団のスポーツ交流

ア 日独スポーツ少年団同時交流

日独の友好と親善を深め、国際的能力を高めるとともに、スポーツ少年団の発展に寄与するため、両国のスポーツ少年団の優れた青少年及び指導者の相互交流を行う。

派遣事業 令和4年 7月31日(日) から 8月17日(水) オンライン開催

(2) 競技スポーツ交流

ア 日中スポーツ交流

日中両国政府により実施された2007「日中文化・スポーツ交流年」を契機として、両国の代表団員が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を実施する。

イ 日韓スポーツ交流

2002年ワールドカップ・サッカー大会の日韓共同開催決定を契機として、両国の代表団員が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を実施する。

ウ 日ロススポーツ交流

2016年に発表された「ロシアにおける日本年」を契機として、両国の代表団員が互いの国を訪問し、スポーツを中心とした様々な交流を実施する。

(3) 東京オリンピック・パラリンピック

富士北麓公園で実施された7人制ラグビーフランス代表チーム及び陸上競技日本代表事前合宿を契機として球技場並びに陸上競技場やウッドストレート、フリーウェイトトレーニング室等の施設の利用促進を図る。

7 安心してスポーツに取り組めるスポーツ環境の推進

(1) クリーンでフェアなスポーツの推進

ア フェアプレイの推進

スポーツを真に楽しく行う上では欠かせないフェアプレイを推進するため、日本スポーツ協会の「フェアプレイで日本を元気に」キャンペーン運動を推進し、「フェアプレイニュース」の掲示や、主催イベントの要項等へのキャンペーンロゴの掲載等、スポーツ活動のあらゆる場面で協力及び実践の呼びかけを行う。

イ スポーツ・インテグリティ(誠実性・高潔性)の確保

スポーツ団体における「コンプライアンス(法令順守)」の強化と「ガバナンス(組織統治)」の構築のため、ガバナンスコードの順守に努めるとともに、日本スポーツ協会の加盟団体規程に基づき、各種規程等の再整備に取り組むとともに、加盟団体にもガバナンスコードの順守を促進していく。

ウ ハラスメントの撲滅

選手同士また選手と指導者がお互いを信頼してスポーツを行えるように、いじめや暴力・暴言、セクハラ等、これまでの指導方法の中に起こりうるハラスメントについて注意喚起を行う。また、スポーツにおける暴力行為等に関する相談及び問い合わせに対応するために設置した相談窓口を維持、継続する。

エ アンチ・ドーピングの啓発

(ア) アンチ・ドーピング講習会

薬物乱用、誤用の認識を高め、健全なスポーツ活動を推進するため、講習会を開催する。

第1回 令和4年 6月30日(木) 小瀬スポーツ公園武道館第1会議室

第2回 令和4年 7月 9日(土) 小瀬スポーツ公園体育館サブアリーナ

(イ) 競技別アンチ・ドーピング講習会の開催

選手が多く集まる練習会や合宿に出向き講習を年5回程度行う。

オ スポーツ仲裁自動応諾条項採択の周知・促進

スポーツ関係団体が、スポーツに関するルールの透明性を高め、健全なスポーツの発展に寄与していく組織づくりの機会になるよう、日本スポーツ仲裁機構の仲裁自動応諾の採択を加盟団体に対して働きかける。

(2) 補償制度の推進

ア スポーツ安全保険の加入促進

関係スポーツ団体に対し、団体活動中に発生する怪我や損害等に備え、安心してスポーツが行えるようスポーツ安全保険への加入を促進する。

イ スポーツ傷害見舞金の周知

スポーツ大会等に参加した選手等で負傷又は死亡した者に対し見舞金の給付を行う。

ウ 主催者賠償責任保険への継続加入

主催事業で損害賠償事故が起きた場合に補償できる体制を整えるため、主催者賠償責任保険へ継続加入する。

(収益事業等)

Ⅲ 利用環境・効率の向上

1 各種サービス事業

(1) レストラン・売店等の運営

公園来園者に対する飲食等の便宜供与のため、体育館レストラン・売店における飲食の提供、物品の販売を行うとともに、スケート靴等の貸し出しに係る斡旋業務を行いスポーツの普及支援の担い手として事業を展開する。

ア レストランの運営

来園者へ飲食等を提供するため、専門業者へ委託し運営する。

イ 売店の運営

イベントや大規模大会等の開催時に売店を開設し、飲食物の販売を行う他、各施設の受付においてスポーツ用具(テニスラケット他)の貸出、テニスボール等の販売等施設利用者のニーズに応じていく。

・販売品目

臨時売店:焼きそば、飲料等の販売

受付販売:バスケットボール等の貸出、テニスボール等の販売

ウ 自動販売機の設置

管理施設内に自動販売機を設置し、清涼飲料水・乳飲料・アイスクリーム及び菓子類等の販売を行う。

・自動販売機の設置台数

小瀬スポーツ公園	45台(プール開放期間中は追加)
緑が丘スポーツ公園	10台
富士北麓公園	7台
境川自転車競技場	2台
八代射撃場	1台

エ スケート靴の斡旋

小瀬アイスアリーナにおいて、利用者にスケート靴の貸し出し業務を行う。

・貸靴種目

フィギュア他3種 約800足

オ ジョギングハウスの活用

ウォーキングやジョギングで小瀬スポーツ公園を訪れた方々が、気軽にトレーニングも行えるよう、ジョギングハウス内に容易に扱え、安全性が高いトレーニング器具を設置し、小瀬スポーツ公園の利用促進を図る。

カ 施設利用者への還元事業の実施

施設の利用促進と、日頃からの施設利用者に対する還元事業として、各種イベントを企画し利用者が楽しめる施設を目指す。

- ・クリスマス企画 (利用者へプレゼント配布)
- ・バレンタイン企画(利用者へプレゼント配布)
- ・ホワイトデー企画(利用者へプレゼント配布)

キ 福利厚生事業の支援

職員が安心して働ける職場づくりの推進を図るため、職員互助会の諸事業に対し支援を行う。

2 利用効率の向上

本協会が管理する各施設の利用効率向上のため、公益目的(スポーツ)以外の利用についても、サービスの向上と利用促進に努め施設の有効活用を図る。